

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2018.06.No250

6月号

## 目次

全道青年委員会連絡会議報告	1
防水技術セミナー報告	3
「建築士の日」支部事業	4
実行委員会報告	6
Coffee Break	7
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>

## 「建築士としての“より良い”を目指す」 全道青年委員会連絡会議を振り返って

青年委員会副委員長 小林 祐 司 (札幌支部)



平成30年3月31日、札幌ではまだまだ春も遠く、冷たい空気に包まれる中、連絡会議のために全道より青年建築士が集まりました。今年から本部青年委員のメンバーが一新され、函館支部の朝倉“新”青年委員長を中心に新体制として全道の青年建築士達の活動が始まります。前年より残っている委員は朝倉委員長と私だけ、他8名は総入れ替えとなった今回の本部青年委員会。私も今期で3期目、5年目に突入いたします。副委員長という役職もいただき、気持ちも新たに青年を盛り上げていこうと決意するスタートとなりました。



本部青年委員による挨拶

### 「建築士の“より良い”を目指す」がテーマ

昨年までのお話をしますと、「よりひろく、よりふかく」というテーマで様々な活動を行ってまいりました。例を挙げますと青年委員会の主たる活動の一つとして、未来を担う子供達を対象とした「建築お仕事体験」がありますが、この事業を全道各地で開催いたしました。「よりひろく、よりふかく」に沿った形で活動したわけです。

今年から朝倉委員長が掲げたテーマは、「建築士

の“より良い”を目指す」です。青年委員会の活動は三つの活動方針を軸としています。「地域貢献」、「仲間作り」、「スキルアップ」の三つです。この三つの方針を元に様々な活動に取り組んでいますが、これら全てに“より良い”を目指す、つまり質的に向上させていこうとチャレンジしていくことが、今年からの青年達の目標になります。言うは易く行は難しですが、我々青年建築士が一致団結して精進してまいる所存です。



朝倉青年委員長による所信表明

連絡会議の内容を振り返りますと、各種事業報告、予算決算報告、連合会からの報告と次第に沿って進行します。一つ、例年と違ったことは連合会からの報告時、建築士会綱領の読み上げを全員が起立して行ったことです。恥ずかしながら私は最近までこの綱領の存在すら知りませんでした。皆様におかれましてはもちろんご存知かとは思いますが、まことに僭越ではありますがここでご紹介したいと思います。

- 一 われらの建築は 人類の幸福のため  
最良の芸術たるべし
- 一 われわれ建築士は 社会の発展のため  
最新の指導者たるべし
- 一 わが建築士会は 会員の向上のため  
最善の団結たるべし

連絡会議冒頭には高野会長よりご挨拶いただき、最後は針ヶ谷常務理事より総評をいただいて締めております。御二方とも共通して「青年は自由」であるとおっしゃっていました。

この「自由」という言葉の裏には、責任という言葉が見え隠れするように感じました。ただやみくもに何をやっても良いではなく、既成概念や慣習にとられることなく、青年らしくまっすぐに取り組み！そんな風に背中を押されたように感じたのです。

青年の上には沢山の先輩達がいる、今の青年達を時には温かく、時には厳しく見守ってくれているという事を忘れずにいたいと思います。そして同時に我々青年よりも若い世代、さらに若い子供達を育てる、引っ張っていくのは青年の「責任」でもあるということ強く自覚しました。

### 研修会テーマ「新技術セミナー」

連絡会議が一通り終わった後は、「新技術セミナー」というテーマで研修会を行いました。2部構成で第1部では外壁改修技術の新工法の紹介と地域材活用事例報告の紹介、第2部では昨年京都で行われた全国大会の建築士フォーラムで発表された地域実践活動VTRの鑑賞会を行いました。

外壁改修技術では、株式会社ヤグチ技工さんが開発された、外壁に使用されているタイルを改修する工法について講演いただきました。北海道の場合は寒冷による凍害で、タイルの剥離やひび割れなどの被害が絶えません。部分的な張替をするにしても、経年劣化したタイルと張り替えたタイルでは色見などが違うため、見た目にも違和感が出てしまいます。そこで補修する新しいタイル一つ一つに手作業で経年劣化したタイルの表現を塗料を使って再現するという工法です。実際にサンプルを拝見しましたが、見分けがつかないほど精巧に再現されていました。また既に沢山の実績もあるので、詳しく知りたい方はヤグチ技工さんのHPを確認してみてください。



(株)K.Cアスカ 百武氏の技術説明

地域材活用事例報告では、しりべし・くつろ木の会をお招きして、道産材「ようていカラマツ」を建築材として活かす「地産地消」の取り組みについて講演していただきました。しりべし・くつろ木の会は、建築分野での地域材の利用拡大を目的に、管内の建設会社、設計事務所、林業会社、森林組合、林産協同組合、自治体などの皆様で情報共有するネットワークです。ようていカラマツを実際に建築材として活用するため、色々な取り組みを進めておられます。コスト的な問題もあるようですが、今後は実績を増やし需要と供給のバランスを取っていくことで低コスト化を目指して活動されています。



しりべし・くつろ木の会 中辻氏の説明

第2部のVTR鑑賞会では、関東甲信越ブロック長野建築士会が発表した「風穴のある場所の価値～地域活性化～」、近畿ブロック京都府建築士会が発表した「ヤマケン木のテント プロジェクト～景観形成、環境保全～」という地域実践活動VTRを鑑賞しました。いずれの活動も質が高く、勉強になることが多々ありましたが、とりわけ印象に残ったのは予算のかけ方が北海道とは2ケタほど違うところです。北海道も負けてはいられませんね。

### 「締めはいつもの三河屋会館」

連絡会議、研修会が無事終わった後は、いつもの大懇親会でこの日を締めくくりました。それぞれに親睦を深め、英気を養い、また今年1年頑張ろう！と気合を入れなおしました。以上、平成30年全道青年委員会連絡会議の報告を終わります。



恒例の集合写真



# 防水技術セミナー2018 in 札幌に参加して



事業委員会 丹波 泰哉 (千歳支部)

昨年に引き続き、東西アスファルト事業協同組合、北海道防水改修事業センター、田島ルーフィング株式会社主催による「防水技術セミナー2018 in 札幌」が2018年3月28日 北海道職業能力開発支援センターにて開催されました。前回同様、多数の方が参加されました。

この防水技術セミナーは座学である ①材と工が実現する「真」の長寿命化改修について、②98年の歴史が答える鋼製下地への新設・改修仕様提案について、そして実演である ③施工デモンストレーション（各種アスファルト防水・金属屋根改修等）の3つのプログラムで構成されていました。



研修室での座学

まず始めに東西アスファルト事業協同組合の成り立ちや歴史の説明があり、その後座学が始まりました。①材と工が実現する「真」の長寿命化改修については、近年の少子高齢化による人口減少を切り口に、既存建物を長期間使用できるように改良する又は長期間使用できる建物を新築するための各種防水材料の特性の説明がありました。その中の無釜型アスファルト防水熱工法では、他工法に比べて耐用年数が長いことにより年単価が安価なこと、薄層化を図ることにより移送・運搬・荷揚げ・荷卸しが大幅削減→「環境対応型」「省力化」を図ることが出来るなど説明があり、大変興味を持ちました。

続いて②98年の歴史が答える鋼製下地への新設・改修仕様提案については、「ルーフデッキに対するアスファルト防水の新設・改修工法について」と「金属屋根改修におけるウレタン防水とアスファル

ト防水の改修工法」の説明がありました。

前者においては、断熱材の固定ディスクの結露防止対策やアスファルト「面」固定による安全性の確保として耐風圧性能の検討が入念にされており、ルーフデッキにもアスファルト防水が有効であることが分かりました。

後者においては、高靱性環境対応型ウレタン塗膜防水と折板屋根上に施すアスファルト防水金属屋根専用改修工法について説明がありました。私自身の経験上、折板屋根にアスファルト防水とは考えたことはなく、今後の屋根改修提案にとっても参考になると思っています。



実習室での実演

場所を研修室から実習室へ移動し③施工デモンストレーション（各種アスファルト防水・金属屋根改修等）が行われました。実際にトーチ工法や無釜型アスファルト防水熱工法などの実演が行われました。この無釜型アスファルト防水熱工法は一層目の表面を炙ることで溶融具合を目視管理しやすく、また溶融性の高いアスファルトを用いることで冬季施工性も安定しているので、北海道においても高品質の防水を提供することが可能だと思いました。そしてその後、ウレタン塗膜防水金属屋根専用改修工法の実演がありました。

今回の実演のように、各種アスファルト防水を見比べる機会はありません。それぞれの特性や新技術に触れることができ、とても勉強になりました。今後もこのようなセミナーに参加し、いろいろ学んでいきたいと思っています。

7月1日は建築士の日。  
今年も各支部で様々な事業を企画しています。ぜひ、他支部ものぞいてみてはいかがでしょうか。

支部名	開催年月日	事業計画	開催場所
札幌	6月29日(金) 18:30~	◆第26回建築士祭り チケット販売予定数 1,200人分(例年 600~700人来場) チケット 1枚 2,500円(ビール・ソフトドリンク飲放題、軽食付) その他お酒、イベントゲームコーナー、別途チケット販売	ホテル札幌ガーデンパレス
	7月7日(土) 9:30~	◆見学会「札幌の景観バスツアー(厚別・清田区編)」 昨年20年を迎えた清田区と30年を迎えた厚別区の歴史を感じながら街並みを見学	札幌市清田・厚別区
恵庭	3月21日(水) 10:00~ 16:00	◆第6回「えにわ新築・リフォームフェア」(*後援事業) *相談ブース【新築・リフォーム(8社)・不動産・住宅ローン・耐震】	恵庭RBパーク
	8月中旬	◆第13回「YEGフェスティバル」出店(主催:恵庭商工会議所青年部) 建築士会のPRを目的に恵庭支部青年部が主体となって「えにわ焼き鳥店」を出店	恵庭市役所「駐車場」
	9月9日(日)	◆市内中学校 第9回「手づくり木工教室」開催(*共催事業) 市内中学生を対象とした「手づくり木工教室」を開催します。 「2×4ベンチ」の製作を行い、ものづくりの楽しみを実感してもらうとともに、建築士会の地域貢献事業の一環として、「木工体験学習」を実施します。	恵庭市職業訓練センター 1階「実習場」
函館	6月29日(金)	◆第31回チャリティ「ピア&ダンスの夕べ」 会員の親睦と市民との交流を図り、「建築士」の存在をアピールするとともに収益金の一部を社会福祉・まちづくり関係団体等に寄付	ホテル函館ロイヤル
桧山	7月8日(日)	第40回全道北前船競漕大会に参加。 スタート地点でのチーム紹介に建築士会のアピールを行う。大会参加後、協賛購入した炉端焼きバーベキューチケットで参加会員と応援団会員で懇親会を行う。	江差町かもめ島 江差港南埠頭
小樽	7月上旬	◆市内の幼稚園(1箇所)に木工品を寄贈し、園児と一緒に組み立てや塗装の作業を実施 ◆建築士会の活動についてPRするため、ポスターの展示など実施	小樽市
後志	7月7日(土)	◆後志のグローバルな建築と食を楽しむ(建物見学会及び交流会)	ニセコリゾートエリア
余市	7月上旬	◆パークゴルフ大会・交流会	未定
室蘭	8月4日(土)	◆親睦ビアパーティー:会員の懇親を深める為、ビンゴ大会・抽選会・ゲーム等	ログハウス レストラン ビアキャビン
	10月7日(日)	◆支部視察研修会:会員の資質の向上と会員の親交を深めるのを目的として開催	未定
苫小牧	7月(予定)	◆苫小牧市内の施設見学会 及び 道路清掃活動とパークゴルフ大会	苫小牧市

支部名	開催年月日	事業計画	開催場所
日高	8月頃	◆パークゴルフ大会	新ひだか町静内
空知	6月30日(土)	◆第29回建築士の集いビールパーティー	滝川 ホテルスエヒロ
北空知	8月上旬	第34回建築士と仲間の集い 青年部 (パネル展)	深川 プラザホテル板倉
留萌	7月上旬	◆第43回社会奉仕資金造成ビアパーティー	留萌産業会館
旭川	6月29日(金)	◆建築士賞の表彰 ・支部管内において良好な都市環境づくり、人にやさしい住環境づくりをとおして、北国の快適で豊かな街づくりに寄与し、顕著な功績があった個人・団体を選考し表彰 ◆第31回チャリティービールパーティー ・寄付金の寄贈、アトラクション、抽選会	トーヨーホテル 2階
士別	7月1日(日)	◆建築士の日ビールパーティー ・パネル展示 ・抽選会等	士別グランドホテル
富良野	6月30日(土)	◆第30回「建築士の日」親睦ビールパーティー	アトリウム タマリーバ
上富良野	7月上旬	◆「建築士の日」ビールパーティー	上富良野町公民館
名寄	6月29日(金)	◆支部交流のジンギスカンパーティー	名寄駅前交流センター「よろーな」
十勝	7月29日(日)	◆毎年【7月1日建築士の日】に合わせて、子ども達や一般の方を対象に木工や古建築展示、異業種交流のブースを出店し、建築士会の活動、木工を通じて、「ものづくり」の楽しさや興味を持ってもらう活動	帯広市歩行者天国 (予定)
釧路	7月27日(金)	◆親睦ビールパーティー	釧路センチュリーキャッスルホテル
根室	7月上旬	◆焼肉懇親会	明治公園
中標津	7月1日(日)	◆建築士の日記念事業 (ベンチの製作、寄贈) 4台程度、製作並びに寄贈	羅臼町
網走	6月30日(土)	◆第24回親睦ビールパーティー及び高齢者施設慰問支援活動	網走市民会館
北見	7月21日(土)	◆ビールパーティー	北見経済センター
紋別	7月初旬	◆第19回支部長杯パークゴルフコンペ ～「まきばの広場パークゴルフ場」	紋別市 道立オホーツク流氷公園内
宗谷	7月5日(木)	◆建築のお仕事体験イベント ◆北門神社例大祭神輿渡御	稚内市

## 組織会員数の拡大と維持事例報告

### 会員増強特別委員会

委員 庵 敏幸（北見支部）



会員増強特別委員会設立は、本会が新法人に平成25年に移行され、同時に全道を4ブロックの道南・道央・道北・道東に分けて、支部組織強化と各地域での情報共有・活性化等の目的に、各支部同士の連携を目途としてスタートしました。

また会員増強特別委員会も、正副会長・総務・青年・女性の各委員長及び4ブロックの特別理事の10により構成された特別委員会であります。

平成25年当初は、関係団体や行政へのアピール要請、ホームページの充実、新たに入会誘導を目指したりリーフレットの作成・配布を実施しました。建築士の合格者増加促進として、一級建築士試験での製図合格率向上の為、課題に対する建築物の見学会を札幌にて実施しました。

平成27年からは、東西アスファルト事業協同組合助成事業として、建築士試験合格者に対しセミナーと免許証授与式を翌年の1～2月に実施しております。平成29年度は北海道建築士（3月号）に、詳しく掲載されております。私も平成28年度の授与式・祝賀会に参加させていただき、後日の道東ブロック会に状況報告し、道東で開催出来ないかと協議いたしました。やはり増強特別委員会でも常に話題となる合格者の情報が無く、ましてや地方での開催は難しいとの判断もあり、合格者は手探り状況ですが支部会員の横との繋がりにより新人発掘に努めているとあります。

他の事例では夏季に支部主催によるビールパーティーを実施して、市民・町民に建築士会のアピールをし、賛助会員も含めて増強活動の実例もありました。各支部も会員増に対策を練っている現状の中で、まず一番身近に各支部にある市町村役場や道庁・国の出先機関等の建築行政に携わる職員の中にも建築士がおられますので、地域との地場情報・災害時の防災応急危険度判定等も含めて交流を深め、是非とも行政の長にも理解をいただき加入促進のお願いを、又現会員の多くは設計・施工関係者と聞いており、小規模支部では、建築資材店・生コンプラント職員・その他業種でも有資格者が会員登録されて活躍している事例もあります。現会員の職場移動・住居移動に伴い支部退会届提出時は、新たな移動先の支部に連絡し脱会対象にならない様に会員の減対策に努めている支部もありました。今回の事例が少しでも参考になれば幸いです。今後も会員増強特別委員会においても、新たな施策も含めて検討してまいりますので、宜しく願いいたします。

## 第1回委員会開催

### 情報委員会

委員長 斎藤 勝哉（旭川支部）



4月7日他の委員会よりも少し遅めとなりましたが第1回の情報委員会を開催しました。新しい委員会体制となって初回ということもあり、全員集まることを念頭に時期を選んだ結果がこの日程となりました。

議題は主に3つ。本誌の掲載記事の決定と全道大会で作成している『号外』について。それと、ホームページについてでした。

### 本誌について

メンバーが変わったとはいえ、相変わらず会議の大半は本誌の掲載内容を決めることです。たいいては実行委員会の活動や委員会の報告であり、イベントの予定あるときにはそのことについて依頼することが多くなります。

依頼から発刊されるまで約2ヶ月のタイムラグが発生します。これは、通常月初めに原稿の依頼をし、月末締め切り。編集と印刷に1ヶ月必要となるためです。このことから出来るだけ間を空けずに依頼したいところなのですが、開催等の情報を把握しきれないため、実行委員会の皆様、イベント担当の皆様是非とも積極的な情報提供をお願いします。

### 『号外』について

今年の全道大会「士別大会」でも号外を発行することになりました。前回の大会で発行した号外で予告していただきましたので、予定通りといったところでしょうか。

この号外も今回で通算5号となります。最初に発行したのは地元での開催でした旭川大会でした。それ以来、少しずつですが良くなっているのではないかと考えています。今回もさらによくできるよう努めてまいります。

### ホームページについて

本誌と共に重要な情報発信のツールであるホームページですが、情報委員会での管理項目となっております。正直なところ今まではあまり議論されておらず事務局にお任せ状態となっていました。そこで、来年開催の『全国大会・函館大会』のPRも含め手を加えていこうと思っております。まず手始めに支部ページの充実を図りたく、先日、各支部に更新の依頼をいたしました。

少しでも活用しやすいように改善していこうと考えております。



## 釧路支部

## 第15回啄木雪あかりの町くしろ

女性委員会副委員長  
山崎 景子



明治41年1月21日。石川啄木が新聞記者として釧路駅に降り立った日を記念日とするこの地域イベントも今年で15回目を迎えました。

釧路支部では昨年引き続き、地域貢献事業として、各メーカーのご協力をいただいた素敵なお家具と照明でコーディネートされた空間でチーズとワイン、ソフトドリンクを楽しんでいただけるバルを開催しました、今年もホクレンの「地域牛乳乳製品需要拡大事業」の一環として無料で提供していただいたチーズやブランド別牛乳の飲み比べも大変好評で皆さんに喜んでいただけたようです。また、

建築士会らしく賛助会員企業などのカタログを用意すると共に無料建築相談のアピールにも挑戦。極寒の日の短い時間ではありましたが、昨年にも増して沢山のお客さまに来場いただき大成功にて終わることができました。



啄木・けんちく・バル会場

また、今年初の試みとして釧路工業高校建築科の有志の皆さんと一緒に会場のひとつである啄木ゆめ公園の飾り付けを行いました。牛乳パックを利用したキャンドルホルダーをはじめ、LEDを

用いた照明などの作品をみんなで協力してアイデアを出し合い、企画・作成・設営・運営を行うことで大きな達成感を共に味わうことができたと思います。



啄木ゆめ公園

釧路支部としては、このような活動を通じて地域の皆さんに建築士と建築士会をより知っていただくと共に地域に根差す後進の育成につながることを期待しながら、今後も引き続き交流を続けていきたいと考えています。

## 北空知支部

## 支部活動の状況について

事務局長

妻神 卓八



昨年、1月の当支部総会で事務局長に選任されて、早いもので1年6か月が経過しました。

前任者との引き継ぎも程々に先ずは、総会後の支部「新年交礼会」の開催。

3月には深川地区消防組合のご協力を得て支部初めての「応急手当普及講習」(普通救命講習)を開催(12名の参加)。建築現場での緊急時の対応に備え、AED(自動体外式除細器)の使用体験を行いました。

8月には、「建築士の日」の事業として「建築士と仲間の集い」ビールパーティーを開催し市民と建築士との交流が図られたところです。(約400名の参加。)

8月31日深川市を皮切りに「災害時応急危険度判定活動連携協定調印」に取組み9月21日北竜町をもって、北空知1市6町(上川管内幌加内町含む)全ての調印が終了したところです。(尚、詳細は北海道建築士2017.11.No243 11月号に掲載。)

また、10月14日「支部創立60周年記念・祝賀会」が開催され、北海道建築士会副会長鈴木基伸様他多数のご来賓のもと、盛大に挙

げましたこと改めて感謝申し上げます。更には、「記念誌」も12月下旬となりましたが無事発刊できました。この間、記念事業に関わりました実行委員の皆様のご努力に感謝とお礼を申し上げます。

本年1月26日には、「支部総会」開催前でしたが「被災地応急支援委員会」の協力を得て北海道知事認定で「北海道建築士会震災建築物応急危険度判定士認定講習会・机上訓練」を実施する事ができました。講師の方々には、遠路のわざわざ足を運んでいただき、受講した会員からは今後も継続して受講したいとの声が聞かれ大変有意義な講習会となりました。

3月23日には新築されました「雨竜町新役場庁舎」と「深川市立深川中学校新校舎・屋内運動場」の施設見学会を開催しました。深川中学校は平成27年度から屋内運動場の改築工事に着手。雨竜町新庁舎は平成28年度から工事に着手し、この3月に完成を見たものです。雨竜町新庁舎は「人に優し

くあたたかく、誰もが安心して利用しやすい庁舎」を整備目標としており来庁者にわかりやすい、情報表示設備が大変充実していました。今年度中には旧庁舎も解体し、駐車場として整備され事業が完了する事となっております。深川中学校の屋内運動場は、平成28年度支部事業で紹介の通り道内で2例目の張弦梁工法を採用しております。また、校舎は階高を4m20cmとし3mの天井高さを確保。校舎の東西にはカーテンウォールのコミュニティーホールを配置、廊下幅も5mとし明るくゆとりのある空間の確保に努め生徒たちがのびのびと勉学に取り組めるよう配慮されておりました。見学会終了後は、焼肉とビールで「意見交換会」を行い、わきあいあいの内に終了することが出来ました。(20名の参加。)今後も、正・準会員67名、賛助会員26名合わせて93名の支部ですが、会員の皆様のご協力により支部事業の推進に向けて行きたいと考えております。



応急手当普及講習



応急危険度判定士認定講習会



雨竜町新役場庁舎議場での集合写真

## 道士会の動き

### 道本部の主な会議報告（5月）

- ◆第2回四役会議  
 〈開催日〉5月7日(月)  
 〈議題〉1) 平成30年第3回理事会議案 他
- ◆第3回理事会  
 〈開催日〉5月18日(金)  
 〈議題〉※議題はすべて承認済み
  - 1) 平成30年一般会計事業報告及び収支状況報告(3月末)
  - 2) 平成30年特別会計事業報告及び収支状況報告(3月末)
  - 3) 平成30年全国大会特別会計事業報告及び収支状況報告(3月末)
  - 4) 第43回全道大会(士別大会)の実施計画等(案)
  - 5) 第62回全国大会「北海道大会」
  - 6) 平成30年(公社)日本建築士会連合会会長表彰推薦者(案)
  - 7) 平成30年(一社)北海道建築士会会長表彰推薦者(案)
  - 8) 大五ビル賃貸借室契約書
  - 9) 平成30年会費未納者の会誌送付停止(案)
  - 10) 住教育教材の支部卸価格の設定(案)
  - 11) 定款第6条に基づく会員の入会承認(案)
- ◆まちづくり委員会WEB会議  
 〈開催日〉5月26日(土)  
 〈議題〉1) まちづくりフォーラム  
 2) 景観整備機構  
 3) 全道大会(士別大会)分科会 他

### 道本部の主な行事予定（6月）

- 2日(土) 支部長・支部事務局長合同会議
- 2日(土) 第2回「建築士による住教育出張講座」運営委員会
- 13日(水) 第3回事業委員会

### 関係機関等会議参加予定（6月）

- 6日(水) (公財)建築技術教育普及センター理事会  
高野会長出席
- 20日(水) (公社)日本建築士会連合会通常総会  
高野会長出席・吉木相談役出席

## 編集後記

サクラ前線終着 根室で開花、例年より5日程早く到着したとのことですが、皆様の住む地域では、すでにお花見シーズン終盤でしょうか？

今月号では7月1日「建築士の日」支部事業一覧を記載、各支部による会員相互の親睦、研鑽、地域貢献など様々な事業が企画されています。今～今後、多くの支部が会員減少や事業縮小を悩みとしているようです。会員増強においては重要課題ではございますが、今、出来ること・したいことを改めて感じる機会として、他支部事業に参加してみたいかがでしょうか？

情報委員会 前田 繁

## CPD認定プログラム(5月認定)

- ◆「(地独)北海道立総合研究機構建築研究本部 平成30年研究成果報告会」  
 〈日程及び会場〉6月6日(水) 10:10~16:40  
 旭川市大雪クリスタルホール  
 〈単位数〉 一部1単位 二部4単位 三部1単位  
 〈問合せ先〉 (地独)北海道立総合研究機構建築研究本部  
 TEL 0166-66-4218
- ◆耐震規程と構造動力学(新版)講習会  
 〈日程及び会場〉6月29日(金) 13:30~17:30  
 かでる2.7 710会議室(札幌市)  
 〈単位数〉 4単位  
 〈問合せ先〉 (一社)北海道建築技術協会  
 TEL 011-251-2794

## 講習会のご案内

### 監理技術者講習

6月22日(金) 札幌市 6月25日(月) 旭川市

## お知らせ

### 建築士のお仕事体験～7月1日は建築士の日～

日時 6月16日(土)～17日(日) 10:00～18:00  
 場所 新さっぽろアークシティー サンピアザ光の広場  
 問合せ 北海道建築士会 011-251-6076

### 札幌支部 建築士受験者講習会

一級建築士(学科) 6月23日(土)～24日(日)  
 二級建築士(学科) 6月2日(土)～3日(日)

場所 札幌市産業振興センター  
 問合せ 北海道建築士会札幌支部 011-232-1843

### (他団体)

### 旭川デザインウィーク2018

6月20日(水)～24日(日)  
 会場 旭川デザインセンター  
<http://asahikawa-kagu.or.jp/adw/about.html>

## 会費納入のお願い

平成30年会費納入は、平成30年3月31日が期限となっております。会費を納入いただけない場合は、7月号から会誌送付を停止いたします。(納入されるまでの間)

ご不明な点がありましたらお手数ですが本部事務局までお問合せください。

北海道建築士会 011-251-6076

情報委員会委員長/斎藤 勝哉  
 副委員長/早川 陽子・森 勝利・前田 繁  
 委員/熊谷 智・柏倉 晶憲  
 村山 賢司・片岡 哲二

## 北海道建築士 No.250号

印刷 平成30年5月/発行 平成30年6月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会  
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
 大五ビル  
 電話 (011)251-6076番  
 URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎  
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目  
 電話 (011)811-7151番